

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年1月11日

計画の名称	下田地区2期都市再生整備計画			
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）	交付団体	香芝市	
計画の目標	<p>大目標 安全・快適な場づくりによる「であい」と「にぎわい」にあふれた香芝市の顔づくり</p> <p>目標1 市民・地区住民のくらしの交流拠点の形成・にぎわいの再生</p> <p>目標2 安全性の向上と防災・防犯拠点の形成</p> <p>目標3 みどりを基調とした景観形成</p>			

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 駅前を地域交流拠点とし、維持管理活動を通してまちづくりへの関心を高める。 駅前広場に隣接する広場及びそれに伴う国道の歩道整備により、駅前周辺の安全性に対する満足度の上昇を目指す。 駅前広場に隣接する広場を景観に配慮した整備を行うことにより、駅前周辺の景観に対する満足度の上昇を目指す。 			
----------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値			備考			
		当初現況値	中間目標値	最終目標値				
		(H22)	(H25)	(H27)				
・駅前広場等維持管理活動参加者数		34人/年	40人/年	70人/年				
・駅前周辺の安全性に対する満足度		27%	27%	50%				
・駅前周辺の景観に対する満足度		50%	50%	60%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	433.40	A	433.40	B	C	効果促進事業費の割合	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成28年4月～平成28年12月
定量的指標の実績値を測定のもと、市において事業効果の発現状況等を考察する。	公表の方法
	香芝市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	香芝市	直接	香芝市	下田地区2期都市再生整備計画事業	区域面積 A=16.4ha 公園整備 A=1860㎡ 等	香芝市						433.4	
合計												433.40			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計												0.00			

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計												0.00			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場等維持管理活動参加者数について、事業開始から毎年度、徐々に参加者が増えていき目標値を達成することができた。 駅前周辺の安全性・景観に対する満足度は、各々目標値を上回る数値となった。 								
II 定量的指標の達成状況				指標① (駅前広場等維持管理活動参加者数)		最終目標値	70人/年	目標値と実績値 に差が出た要因	駅前周辺の景観保全のため人々の関心が高まり、維持管理活動の参加人数が増えたものと考えられる。			
				最終実績値		100人/年						
				指標② (駅前周辺の安全性に対する満足度)		最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	公園内の園路及び国道165号の歩道整備により、駅利用者の動線や通学路の安全性が確保されたため、目標値を上回る結果になったと考えられる。			
						最終実績値						
				指標③ (駅前周辺の景観に対する満足度)		最終目標値	60%	目標値と実績値 に差が出た要因	老朽化した住宅の解消や、駅前広場、鹿島神社の緑に配慮した憩いと安らぎの空間整備により景観機能の充実を図ったことから、目標値を大きく上回った。			
						最終実績値						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況				公園内に休憩施設や遊具を整備したことにより、老若男女幅広い年齢層の方に利用していただき、地域住民の新たな交流拠点の場所としてにぎわっている。								
3. 特記事項 (今後の方針等)												
<ul style="list-style-type: none"> 指標③ (駅前周辺の景観に対する満足度)について、今後も地元まちづくり協議会と連携し、駅前周辺的美観を保つよう維持管理活動に努めていく。 												